

「内之浦中学校の郷土学習・平和学習の取組」

1. 学校名	肝付町立内之浦中学校
2. 学年・人数	1年生 7人, 2年生 11人 計18人
3. 日時・場所	<p>(1) 埋文出前授業事前学習の日時・場所 令和7年5月20日(火) 3校時 2年生教室 令和7年5月20日(火) 6校時 1年生教室</p> <p>(2) 埋文出前授業の日時・場所 令和7年5月21日(水) 5・6校時 図書室</p>
4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	<p>(1) 名称・時代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内之浦臨時要塞(うちのうらりんじょうさい): 戦争遺跡 波見砲台, 海蔵砲台, 火出崎魚雷射場 ・栢木前田遺跡群(はしのきまえだいせきぐん): 弥生時代中期 ・名主原遺跡(みょうずばるいせき): 弥生時代, 古墳時代 <p>(2) 特徴等</p> <p>内之浦臨時要塞は, 戦争末期に米軍上陸に備えて構築された。栢木前田遺跡群は, 学校の近隣に位置し, 多くの生徒が居住している。名主原遺跡は, 古代の大集落跡や遺物が発見され, 戦時中に墜落した戦闘機の一部や, 銃弾が見つっている。</p>
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	<p>本年度は, 1年生の宿泊学習はなく, 1・2年生合同の修学旅行を行った。その中の平和学習の一環として, 鹿児島県の戦争災害について学ぶ場面を設けた。県立埋蔵文化財センターが実施している埋文出前授業においては, 大隅地区で発掘調査中の遺跡や出土した遺物を通して学習を行った。80年前の戦争が身近な場所で実際に起こっていた出来事であることを, あらためて実感することができた。</p> <p>また, 塚崎古墳群と同時代の遺跡である, 名主原遺跡の発掘調査事例を通して, 当時の人々の生活の様子について理解を深めることができた。</p>
6. 取組の様子(研究発表等)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【ミニチュア土器の実見】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【出土した機銃弾の実見】</p> </div> </div>
7. 感想・意見(参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県内にはたくさんの戦争遺跡があることから, 当時の人々がアメリカ軍を相当恐れていたことが分かった。また, 内之浦(肝付町)にもたくさんの遺跡, 砲台跡があることを知った。 ・戦争の悲惨さや, 当時の人々がどんな生活をしていたのかを想像することができた。 ・名主原遺跡では, 5つもの遺構が重なった跡があり, 歴史を感じた。 ・古墳時代などに使われていた土器を見たり触ったりして, 形や大きさが様々であることが分かった。